

計算結果間の断面反映

本プログラムの説明

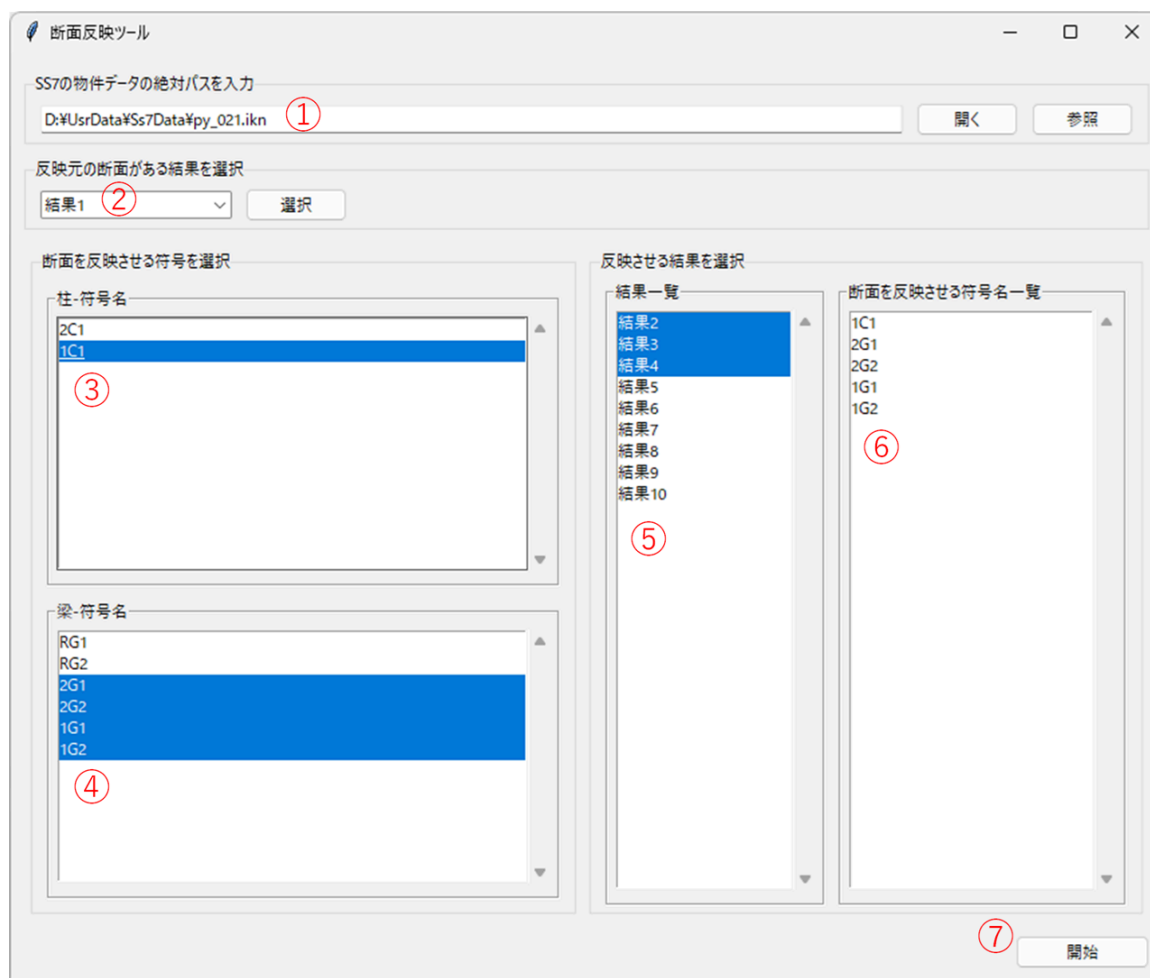
1つの物件データ内に保持された計算結果の間で、柱・梁の断面情報を上書きコピーできる機能です。
例えば、結果1の柱符号"C1"の断面情報を、指定した結果2～10の"C1"に上書きすることができます。
上書き先として指定された計算結果の入力データに情報が上書きされた後、その計算結果は自動で準備計算まで実行されます。

本プログラムの実行方法

1. 『SS7』で、計算結果が複数ある物件データを用意します。
2. コマンドラインでプログラムを実行します(main.py)。

例) C:に「example」というフォルダ名で配置する場合
cd C:\example\src
python main.py

起動直後の画面



3. 以下の手順で入力します。

- ① 『SS7』の物件データのパスを入力するか、参照から物件データを選択し、「開く」をクリックします。
- ② 反映させる断面が登録されている結果を選択し、「選択」をクリックします。
- ③ 選択した結果の入力データ内にある、柱符号名の一覧が表示されます。反映させたい柱符号をクリックして選択します。
- ④ 選択した結果の入力データ内にある、梁符号名の一覧が表示されます。反映させたい梁符号をクリックして選択します。
- ⑤ 断面を反映させる結果をクリックして選択します。
- ⑥ ③, ④で選択した柱符号と梁符号の一覧が表示されます。
- ⑦ 「開始」をクリックすると、断面の反映処理が開始します。

注意事項

- 本プログラムは『SS7』Ver.1.1.21.2で動作確認を行いました。
- 断面反映の対象とするのはRC柱およびRC梁です。
- 断面反映後は「準備計算」まで計算を行います。
- 断面反映によって、反映先の計算結果が上書きされます。
- 柱・梁符号に重複がある場合、断面が正しく反映されない場合があります。
- 反映先の計算結果がロックされている場合は、その結果に対する断面の反映を行いません。

『Op.Python実行』の設定手順

Ss7Pythonライブラリを使用するための設定手順です。

1. 『SS7』を起動し、[ツール - 環境設定 - Op.Python実行]画面を表示します。
2. “利用可能なPython言語のバージョン”を選択し、[デスクトップへコピー]ボタンをクリックします。
3. デスクトップにある「Python」フォルダごと、「src」フォルダにコピーします。

必要な外部ライブラリ

このプログラムは外部ライブラリを使用していません。

著作者

Copyright (C) 2026 UNION SYSTEM Inc.

ライセンス

本プログラムは MIT License に基づいています。「LICENSE」を確認してください。